

PRESIDENT'S MESSAGE

R I 会長メッセージ



職業訓練にとどまらない奉仕

アメリカ・カリフォルニア州サリナス郊外の自動車修理工場では、若者たちがクラシックカーの修復技術を学んでいます。このプログラムで得られるのはスキルだけではありません。メンター制度を通じ、一部の若者にはギャングから足を洗い、有意義な仕事へ向かう新たな道筋が生まれています。研修を終えた若者は、資格と実務経験、そして希望を胸に旅立ちます。

1月の「職業奉仕月間」は、専門性を持つ人々が集い、「世界でよいこと」をする力をたたえる機会です。同時に、「高潔性」とは単に行動と発言が一致しているというだけでなく、私たちの一つ一つの行動に表れることを思い起こさせてくれます。

この自動車修理プログラムが成功したのも、高潔性に基づいて築かれたからです。カーメル・バイ・ザ・シー・ロータリークラブの会員は、「地域のニーズは分かっている」と決め付けず、まず耳を傾けました。すると、熟練整備士の不足と、職業訓練を受けていない若者が多いという課題が明らかになりました。技術習得だけでは不十分と判断した彼らは、カウンセリングや支援サービスを職業訓練と並行して提供する非営利団体と連携しました。

これは、「四つのテスト」の実践です。この四つの問いは他者を裁くためではなく、真に効果的で誠実な奉仕へと私たちを導く指針なのです。

ボリオ根絶への取り組みを思い返してみましょう。私たちは40年近く、世界の子どもたちに「この病気をなくす」と約束し続けてきました。数々の困難を前にしても歩みを止めず、今日まで前進してきました。この約束を守り抜く姿勢こそ、高潔性そのものです。

同じ高潔性が、職業奉仕の取り組みにも必要です。今後10年間で新興国では12億人が就労年齢に達しますが、

見込まれる新規雇用は4億2,000万人分に過ぎません。長い間経済的な機会から取り残されてきた地域こそ、私たちの支援が求められているのです。

ただし、支援とは私たちの意見を押し付けることではありません。地域のニーズに耳を傾け、パートナーシップを築き、コミュニティーが自ら持続できるプロジェクトを設計することが大切なのです。

皆さんは、人の人生を変え得る知識と専門性を備えています。どのような職業であれ、皆さんの専門性にロータリーの価値観が加わることで、持続的な変化が生まれます。問われているのは「自分に何か提供できるかどうか」ではなく、「自分のスキルをどう生かして奉仕するか」です。

この1月、クラブとして地域の職業的ニーズにどう応えられるか、改めて考えてみてください。誰かの人生を動かす力を持つスキルは何か。皆さん的人脈を生かして若者たちにどのような扉を開けることができるでしょうか。持続可能な雇用を生むには、どのようなパートナーシップが築けるか。

高潔性を道しるべに、「四つのテスト」と共に歩みましょう。そして、カリフォルニアの若者たち、さらには世界中で職業スキルを必要とする人々を思い、職業奉仕の意義を見つめ直しましょう。

私たちが持つ専門性を人類のために生かし、全ての行動に高潔性を込めていくことを、この月間で共にたたえ合いましょう。

**フランチェスコ・アレツォ
2025-26年度 国際ロータリー（R I）会長**